

## 11 薬師池公園と七国峠を巡る秋色の散策

コース概要：JR町田駅中央改札口に9時集合～21番バス乗り場へ移動 ⇒ 薬師池公園下車 ⇒ 秋色に色づいた園内を散策 ⇒ 野津田薬師堂（園内） ⇒ 七国峠 ⇒ 町田ぼたん園 ⇒ 七国山ファーマーズセンター ⇒ 自由民権の碑—石坂昌孝の墓 ⇒ 農機具館 ⇒ 古代ハス園（薬師池公園） ⇒ 町田市フォトサロン ⇒ 薬師が丘バス停または園内を縦断して薬師池バス停 ⇒ 町田駅（解散）

10月17日に下見した時は、紅葉が今少しという状況でした。当日は素晴らしい紅葉が楽しめると思います！ 少し早いかもしれませんが町田駅に9時集合です。中川組は8時11分に乗車、センター北でグリーンラインに乗り換えて中山からJR横浜線に乗り町田に向ってください。新横浜からでも結構です。本日の最大の難関は町田駅よりバス乗り場までの順路です。二度目の下見組も迷ってしまいました。小田急とJRの駅が離れていて、中央のロータリーは回廊で結ばれていますが、神奈中と小田急のバスセンターが別々にあり、しかも今回乗車する神奈中の21番乗り場はバスセンターから遠く離れています。各班のメンバーはリーダーから離れないようにしてバス乗り場まで移動してください。

下図は駅前の略図です。





21 番乗り場 前方に東横インが見える

バスは直進し、鎌倉街道を右折します。左にカーブしながら 20 分ほどで薬師池バス停に到着します。右手前方にリス園の看板が見えています。バス通りを少し戻って右手の道を入ると公園の柵に、少し右に進むと裏門があります。



ここから園内に入ります。色づいてきた紅葉を楽しみながらゆるい坂をカーブしながら下っていきます。左手に管理事務所があります。





東屋から花菖蒲園を見る



薬師池を覆うカエデの紅葉

山あいの谷戸には花菖蒲田（見頃は6月中旬）があり、それに沿って進むと右手に水車（上掛）が見えてきます。突き当りに大きな池（薬師池）が表れます。池に沿って右に進むと売店があります。うどん・そばなどが売られています。その前方に藤棚があり季節には見事に開花して目を楽しませてくれます。池に架かる太鼓橋を渡ると前方にトイレがあります。その先に梅園が広がります。梅は3月に開花 250本 紅梅・白梅・豊後梅などが咲き競います。



梅園の先には万葉草花苑があり、春が楽しみな場所です。そして荻野家の藁葺住宅を見て薬師堂に向かいます。境内には樹齢何百年かのイチョウの大木が聳えています。そこで面白い文句を発見しましたので紹介します。

A・B班はこれよりさらに上って七国峠に向かいますが、C班はショートカットしてもと来た道に戻り、フォトサロンを見てハス田を一回りして薬師が丘バス停から戻ります。



薬師堂の裏手を上りきって園外に出ると、広々とした展望が開けてきます。野津田ファーマーズ農園を眼下に見下ろしながら、クリ畑や蕎麦畑（ピンクの花を咲かせていました）を過ぎて鎌倉古道に出ます。古井戸などを見たら少しバックして牡丹園に入ります。





## 七国山緑地保全地域案内図

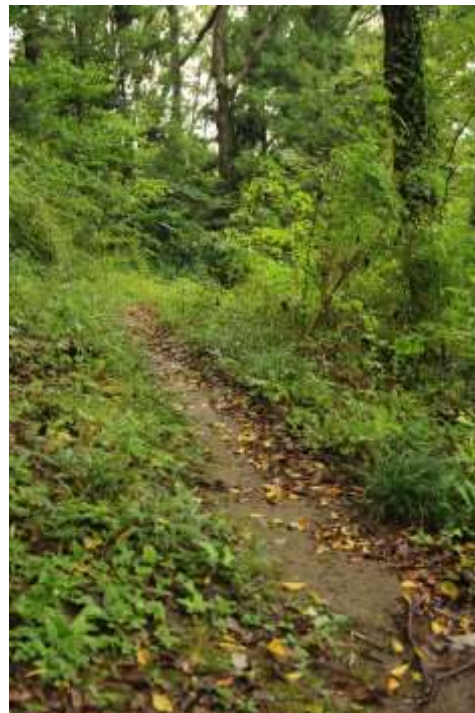
至 芝浦街道

至 今井谷戸

至 町田ぼたん園

七国山緑地保全地域は、町田市のほぼ中心部に位置しています。小高い丘陵地のほぼ全域にコナラ・クヌギの雑木林が広がっています。区域の西部には鎌倉古道が南北に縦貫し、鎌倉井戸の遺構が残されています。

東京都では、この自然を守り次世代に伝えていくために「東京における自然の保護と回復に関する条例」に基づき、昭和50年に緑地保全地域に指定しました。



ここでは民権の森とそれにかかわった人のお墓などを見て退出、目の前の「ふるさと農機具館」を覗いてから下のバス通りまで下ります。蓮見橋を渡った先に薬師が丘バス停があります。

鎌倉古道を歩く



まず橋の脇からハス田に入ります。これは大賀博士が千葉の検見川で発見した大賀ハスをここに移植して繁殖させたものです。その先にアジサイ園（6月中旬から7月上旬まで 50品種、1000株が咲き揃う）、椿園（3～5月開花）があります。

\*なお、このほかにほおずき市が7月中旬、観蓮会が8月第一日曜日に、菊花展が11月中旬に開催されます。そして椿園の前には大きな平和を願うモニュメントがあり、その脇に町田フォトサロンがあります。素晴らしい写真が展示されていました！



牡丹園の入り口



牡丹園の東屋

さて、AB班の方はこれよりすぐ先にある薬師池を右に見て、花菖蒲園の脇から坂を上って朝方のバス停に出てもよし、バックして蓮見橋の先の薬師が丘のバス停から戻ってもOKです。  
お疲れさまでした。

